

心理学的支援法

《担当者名》関口 真有 (sekiguchi@hoku-iryō-u.ac.jp)

【概要】

公認心理師は、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって「心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと」を業とする者とされている。本講義では、代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義とその適応や限界について専門的知識を修得し、心理学的支援における多様な視点について学ぶ。また、心理支援の選択や調整、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、プライバシーへの配慮について、専門的知識を修得する。

【学修目標】

代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義とその適応や限界を説明できる
心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じた適切な支援方法の選択と調整について説明できる。
良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの能力を身に付ける。
心理療法及びカウンセリングの適用とその限界を説明できる
心理に関する支援を要する者等へのプライバシーへの配慮について説明できる
訪問による支援や地域支援の方法や意義について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	心理学的支援と基本技能としてのコミュニケーション	心理学的支援の全体像や心理学的支援における留意事項について学ぶ。また、良好な人間関係構築のためのコミュニケーションについても学ぶ。	関口真有
2	心理学的支援における方法の選択と適応の限界	心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じた適切な支援方法の選択について学ぶ。また、心理療法の適用の限界について学ぶ。	関口真有
3	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	人間性アプローチに基づく支援、特にクライエント中心療法について学ぶ。	関口真有
4	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	精神力動理論に基づく支援、特に精神分析的な心理療法について学ぶ。	関口真有
5	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	認知行動理論に基づく支援、特に行動療法について学ぶ。	関口真有
6	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	認知行動理論に基づく支援、特に認知行動療法、第3世代の認知行動療法について学ぶ。	関口真有
7	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	システムズ・アプローチに基づく支援、特に家族療法について学ぶ。	関口真有
8	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	社会構成主義に基づく支援、特にナラティブセラピーについて学ぶ。	関口真有
9	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	集団療法に基づく支援について学ぶ。	関口真有
10	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	遊戯療法に基づく支援について学ぶ。	関口真有
11	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	日本で生まれた様々な心理療法について学ぶ。	関口真有
12	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	コミュニティアプローチに基づく支援について学ぶ。	関口真有
13	代表的な心理療法の歴史、概念、	訪問による支援について学ぶ。	関口真有

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	意義、適応及び限界		
14	心の健康教育	健康を維持、予防、あるいは早期回復のための支援を学ぶ。	関口真有
15	心理学的支援における価値と倫理	職業倫理、プライバシーへの配慮について学ぶ。	関口真有

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

講義内で行う個人ワークや感想 (google form)20%、期末試験80%で評価を行う。

【教科書】

教科書名：特定の教科書は指定しない。

【参考書】

公認心理師標準テキスト 心理学的支援法，杉原保史・福島哲夫・東齊彰，北大路書房

公認心理師スタンダードテキストシリーズ 心理学的支援法，【監修】下山晴彦・佐藤隆夫・本郷一夫，ミネルヴァ書房

【備考】

Google classroomにおいて、適宜授業資料を配信する。

Google Formを利用して、適宜、ワークなどに取り組んでいただくことがある。

Google Formを利用して、毎回講義で考えたことや気づきなど、振り返りを行っていただく。

【学修の準備】

- ・シラバス記載内容を参考に、参考書、関連図書などを用いて講義内容を予習すること（30分）
- ・毎回実施する復習問題に正解できるように、前回の講義内容を復習しておくこと（1時間）

公認心理師科目でもあるため、今後の演習や実習に向けた準備として、授業内容を踏まえて自分自身でさらに参考図書などで理解を深めてほしい。

日常生活における自分自身の体験や、周囲の出来事と関連付けられながら、実感を伴った理解を心がけてほしい。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP4. 公認心理師の活動に関連する知識・技術を修得している。

DP3. 心理学の基礎やそれらを応用発展させた心理科学と周辺諸科学に関する知識・技術を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【ICTの活用】

学習教材（授業資料）の配信や学習課題の提示、授業に関するアナウンスにおいてはGoogle Classroomを利用する。

【実務経験】

臨床心理士・公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

臨床心理士・公認心理師としての実務経験に基づき、心理学的支援において必要とされる知識を修得できるように講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している